

人工透析療養者通院費 助成について

新政たかやま

榎 隆 司



問 支所地域の人工透析療養者には外出支援事業(福祉有償運送)で支援しているため、タクシー利用補助は対象外となっているが、予約が取りづらい時がある。タクシー利用に係る費用の助成を支所地域の療養者にも拡充はできないか。

答 外出支援事業の利用を希望する人工透析療養者が増えている現状を把握し、支所地域における助成の拡大の必要性について検討する。



高山に日本語学校を!!

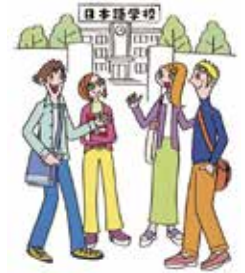
新政たかやま

水門 義 昭



問 高山短期大学において日本語学校の開設が検討されている。高山市としても支援できないか？

答 高山市では北海道東川町と相互連携協定を締結して東川町の日本語学校卒業生を市内の事業所で受け入れ、これまでに15人が就職している状況。高山短期大学が日本語学校の設立検討を進められていることは認識している。設立に向けて日本語教員の確保や授業カリキュラムの策定等が課題となっていると伺っており、高山市として連携して進めていかなければと考えている。協議を進める中でどのような支援ができるのか検討していく。



プロジェクト「PLATEAU (プラトー)」の参画について

みんなで未来をつくる会

丸 山 純 平



問 国土交通省による日本全国の3D都市モデルの整備・オープンデータ化プロジェクト「PLATEAU」では、配送ドローンや自動運転のルート設定、災害時のシミュレーション等、幅広く活用できる見込みがあるが、市ではどのように有用性を認識しているのか。

答 市ではPLATEAUコンソーシアム設立時から会員となり、情報収集を行いながら活用の研究を進めている。防災の面では、木造住宅が集中する地域での火災の延焼シミュレーション、被害想定による災害リスクの可視化に有益である。また、仮想空間での散策や買い物など地域活性化分野でも活用ができると捉えている。

みどりの食料システム 戦略

みんなで未来をつくる会

益 田 大 輔



問 みどりの食料システム戦略では2050年までに「化学農薬の使用量の50%低減」「有機農業の取組面積の割合を25%に拡大」などの目標設定がある。高山市の取組の現状と計画は。

答 有機農業の取組面積は15.94ha、0.36%である。アクションプランを策定し、R9年度に32haを目指している。

問 欧米で使用が禁止されているネオニコチノイド系農薬は発達障害のリスクを高めるといふ。ネオニコチノイド系農薬の使用状況と低減への取組は。

答 販売量ベースで3年間で16%減少している。低減に向けた意識を醸成し、化学農薬や化学肥料を使用しない農法の研究を進めている。

